

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成29年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立春日部高等学校		Cグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	校訓「質実剛健」、教育方針「文武両道」を踏まえた学校像である。伝統校に寄せられる保護者・地域などの期待を反映し、「広く社会で活躍できるリーダー」という文言で学校として目指す方向が簡潔かつ明確に示されている。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	保護者・地域などの期待や生徒の実態を踏まえて学校の取り組むべき方向が示されており、三つのキーワードを前面に出して明確化かつ重点化が図られている。一層のレベルアップに向けて具体的かつチャレンジングな目標とすることが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	評価運営委員会を中心に学校自己評価システムが運営されている。分掌・学年間の連携を図り、分掌等で検討される方策を学校全体のシートヘフィードバックするなど、教職員全体の参画を高めるための工夫ができると更に良い。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	リーダー育成の方針の下、骨太リーダー育成リベラルアーツ事業、スーパーサイエンスハイスクール事業等、多面的に取り組み、自己管理の徹底に向けて「春高手帳」を活用している。今後は目指す学校像の実現に向けて、学校全体の目標と連鎖させ、学年・分掌を挙げて更に組織的に取り組むことが望まれる。	
	校長的的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の現状を踏まえた明確な学校経営の方針を持ち、目指す学校像の実現に向けて取り組んでいる。校長的的確なリーダーシップの下、課題の解決に向けて、学校全体として更に組織的に取り組むことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	保護者対象のアンケートや学校関係者評価などを基に、取組を検証するための情報収集に努めている。学校関係者の意見やアンケートの結果等を更に分析して新たな課題の析出や方策の見直しを検討するなど、学校の強みを生かしながら、より具体的な取組につなげるようにしていただきたい。	
特記事項			